

北多摩西部防火・防災会 平成28年度定期総会

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成28年06月25日

平成28年06月25日に中小企業大学校で標題の北多摩西部防火・防災会平成28年度定期総会が開催されました。当日は東大和市(75団体加入)及び武蔵村山市(55団体加入)の各団体が参加して開催され、平成28年度役員及び事業計画が確認されました。

定期総会の後、首都大学 准教授 市古太郎氏から、

● 「災害じからの回復力のある地域コミュニティをつくる」
の防災講演がありました。講演は身近な事より地域コミュニティを作る事の重要さを痛感致しました。

防火・防災会
会長；吉澤様



開会の挨拶
北多摩西部消防署
署長；野崎様



東大和市
副市長；小嶋様



会場の状況



講師：首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市システム科学域

准教授 市古 太郎 氏



「災害からの回復力ある
地域コミュニティをつくる」

首都大学東京大学院
都市環境科学研究科 都市システム科学域
准教授 市古 太郎 氏

北多摩西部防火・防災会 平成28年度定期総会

北多摩西部防火・防災会では、以下のとおり、平成28年度定期総会を開催いたします。

万障お繰り合わせの上、ご参加願います。

日 時 平成28年6月25日（土）
午前10時00分から12時00分
場 所 中小企業大学校東京校
東大和市桜が丘二丁目137番地の5

【第1部】 年度行事計画等について（10:00～）

【第2部】 防災講演（10:30～）

「災害からの回復力ある地域コミュニティをつくる」

講師：首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市システム科学域

准教授 市古 太郎 氏



主 催 北多摩西部防火・防災会
連絡先 042-565-0119（北多摩西部消防署内）

平成28年度定期総会

日 時 平成28年6月25日(土)

午前10時00分から

平成28年度

北多摩西部防火・防災会 定期総会次第

《第一部》10:00～10:20

- 1 開会
- 2 役員紹介
- 3 地区代表自治会紹介
- 4 会長あいさつ
- 5 北多摩西部消防署長あいさつ
- 6 来賓あいさつ
- 7 平成28年度行事予定

《第二部》10:30～12:00

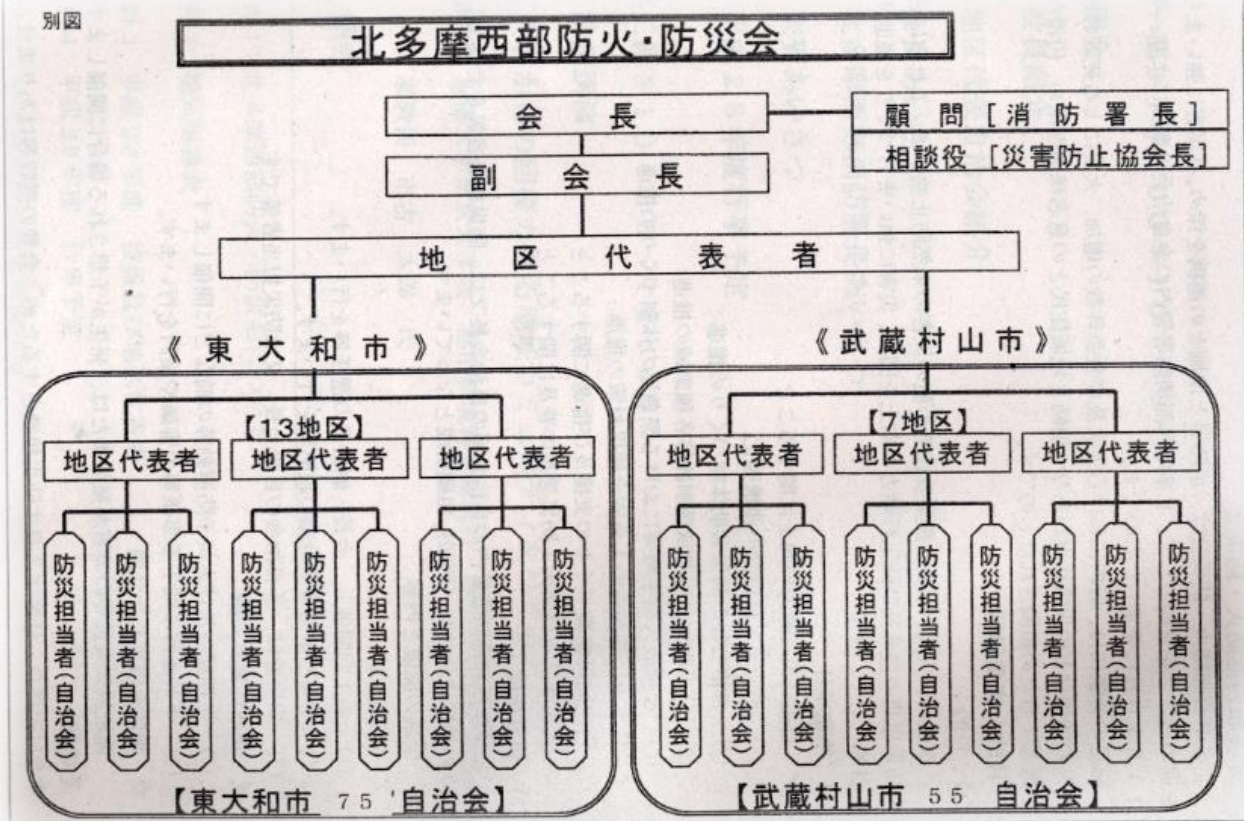
- 1 防災講演

『災害からの回復力ある地域コミュニティをつくる』

講師：首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市システム科学域

准教授 市古 太郎 氏

- 2 閉会



北多摩西部防火・防災会2016年度総会・講演会

災害からの回復力ある地域コミュニティをつくる

2016/6/25 市古太郎（首都大学東京）

1. 本日本話したいこと

- ・ 気仙沼階上地区の住まいと集落再建スタディ：回復力のあるコミュニティ
- ・ 首都直下(M7.3)／多摩直下型地震(M7.3)の被害像：揺れの広がり和生活(支障)被害
- ・ 大災害からの回復の見取り図（直後期および避難生活・生活再建期）
- ・ ちょっと変わった（?!）地域防災訓練：実技型および図上型訓練の双方で。

2. 寄り添うプランニングと豊穡の大地—気仙沼階上地区の住まい・集落再建スタディ—

- ・ 気仙沼市階上杉の下集落：元の集落に近い場所へもどりたい。
- ・ 312名、85世帯、93名が津波で亡くなる！全ての住家が流出または全壊。
- ・ 18mの津波に対し、集落の避難場所が12mだった（15mあると思っていた）。
- ・ 「建築、まちづくり、地域保健の専門家に何ができるか？」
- ・ 「寄り添うプランニング」：地域のニーズに基づいて支援活動を組み立てる。
- ・ Resiliency：しなやかに、すみやかに回復する能力。
- ・ 2012年7月に第1回勉強会。元の集落近くの高台探し→高台の造成デザイン→市役所とのデザイン協議→住まい再建に関する勉強会→造成工事中の見学質問会→土地引き渡し→完成入居・住みこなしへ。
- ・ 2016年7月に第27回勉強会。